

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー（エマージング株）」は、このたび、第14期の決算を行いました。本ファンドは、エマージング諸国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

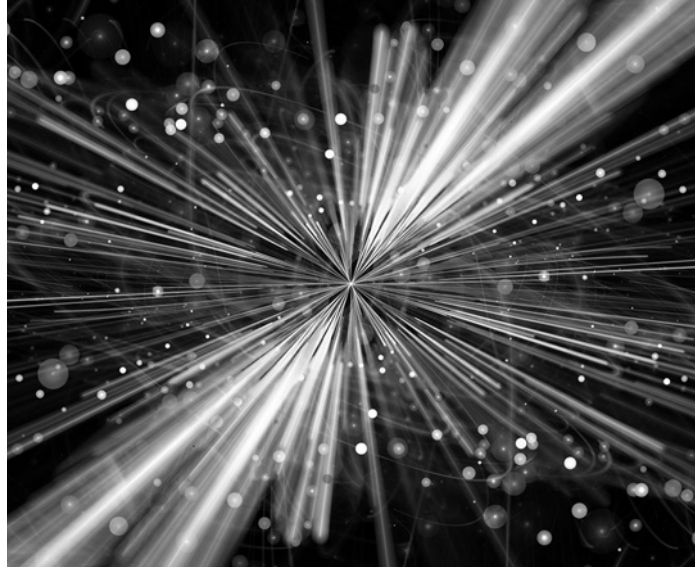
第14期末（2024年9月17日）		第14期	
基準価額	13,572円	騰落率	-4.2%
純資産総額	2,275百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付できる旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択



交付運用報告書

GSビッグデータ・ストラテジー （エマージング株）

追加型投信／海外／株式

第14期（決算日2024年9月17日）

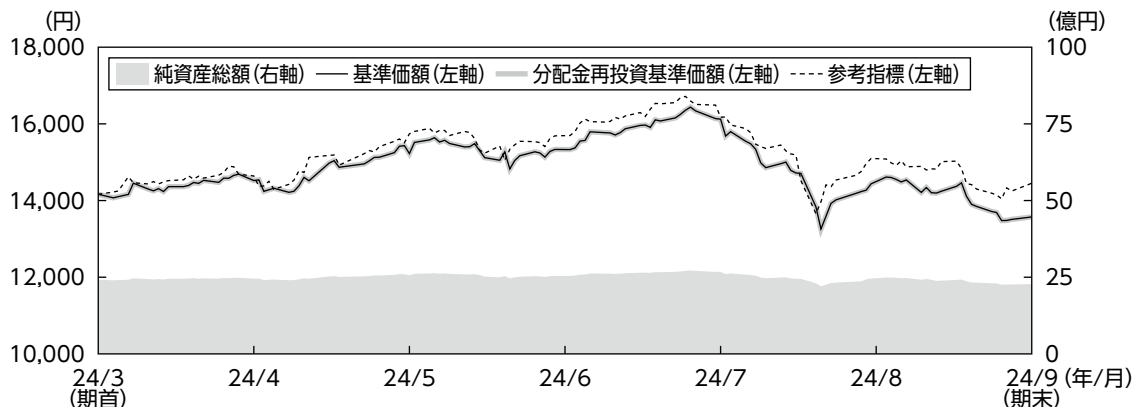
作成対象期間：2024年3月16日～2024年9月17日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2024年3月16日～2024年9月17日）



第14期首：14,164円

第14期末：13,572円

(当期中にお支払いした分配金：0円)

騰落率：－4.2%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の14,164円から592円下落し、期末には13,572円となりました。

上昇要因

銘柄選択における3つの投資テーマのうち「モメンタム」がプラス寄与となったことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

MSCIエマージング・マーケット・インデックス構成国における国別配分がマイナス寄与となったことが、基準価額の下落要因となりました。また、銘柄選択における3つの投資テーマのうち「バリュウ」および「収益率」がマイナス寄与となったことが、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年3月16日～2024年9月17日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	119円 (58)	0.799% (0.392)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(58)	(0.392)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	8 (0)	0.051 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	
(その他)	(7)	(0.047)	
合計	127	0.850	
期中の平均基準価額は14,893円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

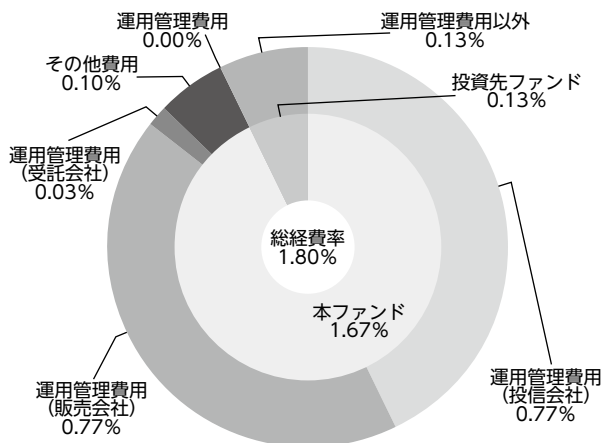
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①本ファンドの費用の比率	1.67%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

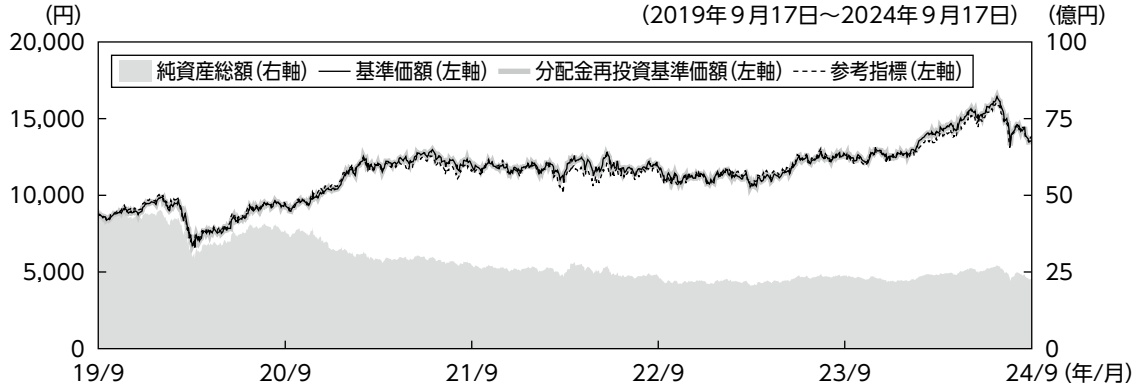
(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2019年9月17日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 参考指標は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

	2019/9/17 決算日	2020/9/15 決算日	2021/9/15 決算日	2022/9/15 決算日	2023/9/15 決算日	2024/9/17 決算日
基準価額（分配落）（円）	8,753	9,385	12,100	11,959	12,676	13,572
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	7.2%	28.9%	－1.2%	6.0%	7.1%
参考指標騰落率	—	8.8%	22.4%	0.5%	8.7%	8.9%
純資産総額（百万円）	4,569	3,832	2,765	2,390	2,387	2,275

- (注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。
- (注3) 参考指標は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■ 投資環境について

<エマージング株式市場>

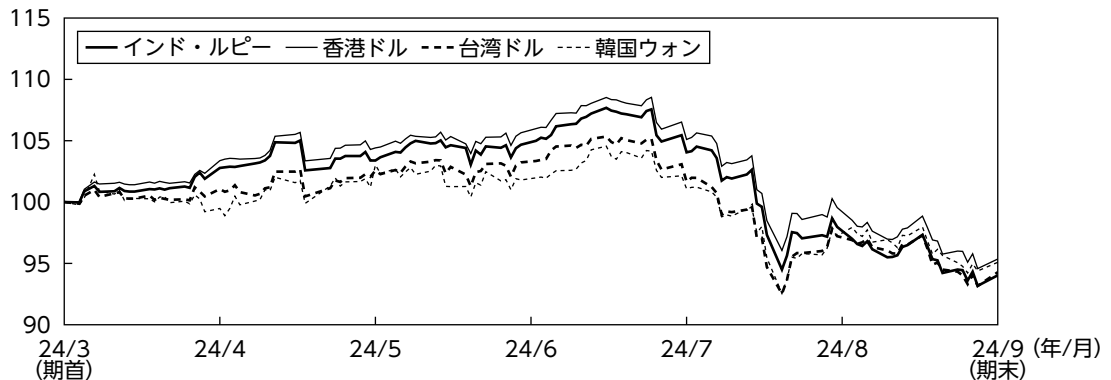
当期のエマージング株式市場は上昇しました。

3月後半は、米当局による2024年内の利下げ開始への期待から堅調に推移しました。4月は、前半は米景気の過熱感を嫌気し株式市場は世界的に調整したものの、エマージング株式市場は月末にかけて中国当局による景気刺激策への期待から上昇しました。5月は、主要半導体銘柄の好決算に牽引され上昇しましたが、下旬にかけて中国市場がそれまでの急速な上昇への反動から下落に転じ失速しました。6月は、中国市場が経済減速の懸念から調整を続けるなか、台湾および韓国の半導体関連銘柄が牽引して上昇しました。7月は、米国の大型ハイテク株が調整色を強めるなか軟調に推移しました。8月は、市場予想に反して7月末に実施された日銀の追加利上げによる為替相場の動揺や米景気後退懸念などが重なりエマージング株式市場は月初に急落したものの、その後は急速に値を戻す展開となりました。9月前半は、月初に発表された米国の経済指標が弱かったことが投資家心理の悪化を招き、エマージング株式市場は下落する一面もありました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、台湾ドルやインド・ルピーなどを中心に、エマージング通貨は円に対して概ね下落しました。

○為替レート（対円）の推移



(注1) 為替レートはWM/ロイターレートを使用しています。

(注2) 各通貨は期首を100として指数化しています。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヶ月は前期末の5.3%程度から4.9%程度まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、エマージング諸国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオ＞

エマージング諸国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた評価基準（MVPモデル）に基づき、投資魅力度を総合的に評価していますが、当期は「モメンタム」がプラス寄与となりましたが、「バリュー」と「収益性」はマイナス寄与となりました。

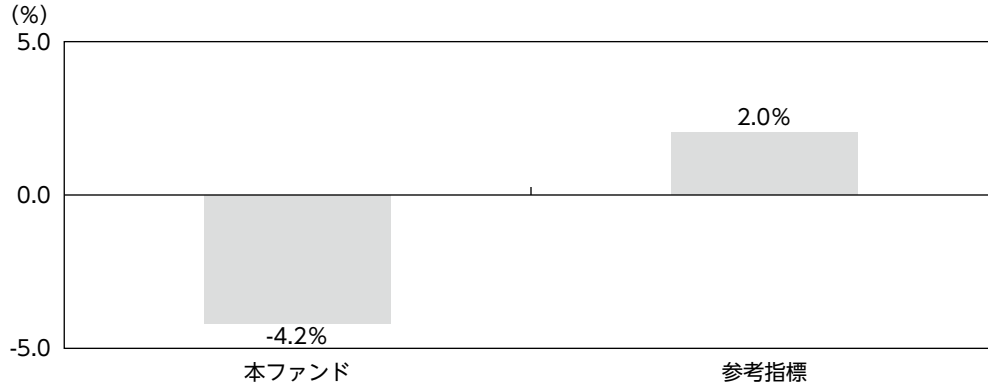
＜ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド＞

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



（注1）基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）参考指標は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、－4.2%となった一方、参考指標のパフォーマンスは＋2.0%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 14 期
	2024年3月16日～2024年9月17日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,400

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組入れ、エマージング諸国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオ>

エマージング諸国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

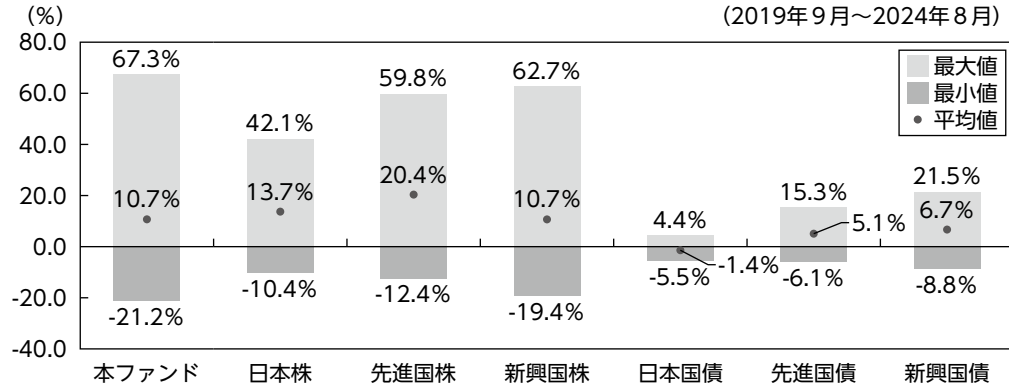
今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主としてエマージング諸国の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	エマージング諸国の株式
指定投資信託証券②	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年9月から2024年8月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI インクに帰属します。MSCI およびMSCI の情報の編集、計算、および作成に関するその他のすべての者（以下総称して「MSCI 当事者」といいます）は、MSCI の情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI 当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCI の書面による明示的な同意がない限り、MSCI の情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2024年9月17日現在）

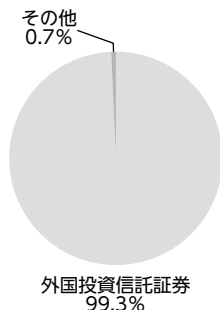
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

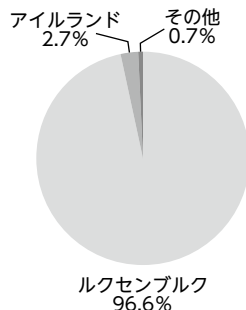
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケットCOREエクイティ・ポートフォリオ	96.6%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

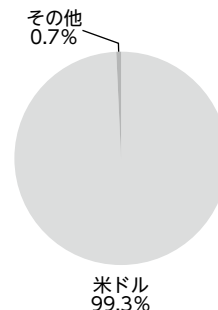
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注2）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

（注3）通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

項目	第14期末
	2024年9月17日
純資産総額	2,275,004,730円
受益権総口数	1,676,258,562口
1万口当たり基準価額	13,572円

（注）期首元本額は1,707,454,290円、当作成期間中において、追加設定元本額は131,994,843円、同解約元本額は163,190,571円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオ>（2023年11月30日現在）

* 2024年9月17日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について（2022年12月1日～2023年11月30日）



* I Oアキュムレーション・スナップ・シェアクラスの純資産価格

○費用明細（2023年11月30日に終了した期間）（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	8,494
有価証券貸付にかかる手数料	27,725
投資顧問報酬	15,867,890
保管費用	1,561,303
管理事務代行報酬	373,633
販売報酬およびサービシング報酬	10,968
名義書換事務代行報酬	246,091
年次税	431,663
専門家報酬	74,781
その他運用費用	945,026
	<u>19,547,574</u>
費用合計	<u>19,547,574</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

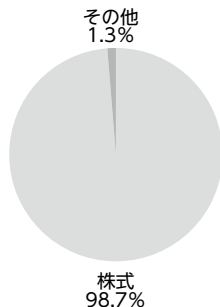
	銘柄	国	比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	4.9%
2	Tencent Holdings Ltd.	ケイマン諸島	4.9%
3	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	3.5%
4	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	2.8%
5	Kia Corp.	韓国	1.8%
6	State Bank of India	インド	1.6%

(組入銘柄数：334銘柄)

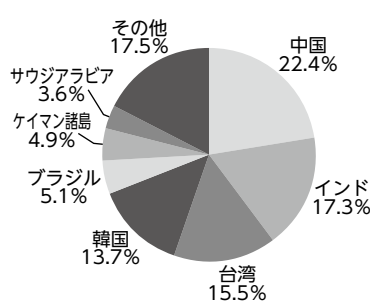
	銘柄	国	比率
7	UltraTech Cement Ltd.	インド	1.5%
8	Baoshan Iron & Steel Co. Ltd. Class A	中国	1.5%
9	Powszechny Zaklad Ubezpieczen	ポーランド	1.5%
10	MediaTek, Inc.	台湾	1.4%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

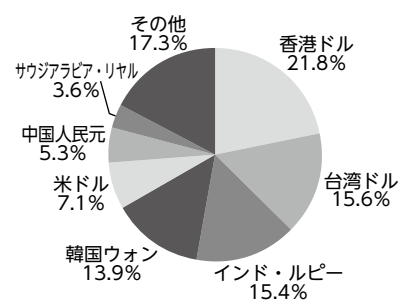
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

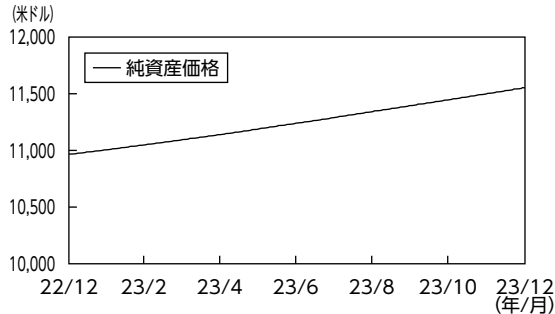
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>（2023年12月31日現在）

* 2024年9月17日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について（2023年1月1日～2023年12月31日）



* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○組入上位10銘柄

	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	9.2%
2	MUFG Securities (Canada) Ltd Repo	現先取引	5.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.2%
4	United States Treasury Bill	国債	2.7%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	2.1%

○費用明細（2023年12月31日に終了した期間）（単位：米ドル）

費用	
投資顧問報酬	79,458,622
管理事務代行報酬	1,331,844
保管費用	1,795,618
販売報酬	2,811,628
名義書換事務代行報酬	894,982
専門家報酬	57,139
その他費用	4,936,236
費用合計	91,286,069
投資顧問報酬調整額	(8,856,966)
運用費用合計	82,429,103

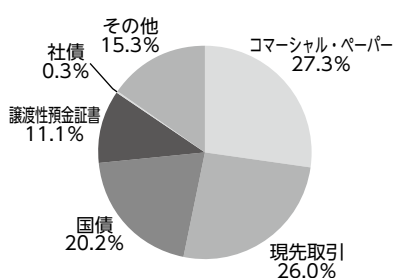
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

(組入銘柄数：205銘柄)

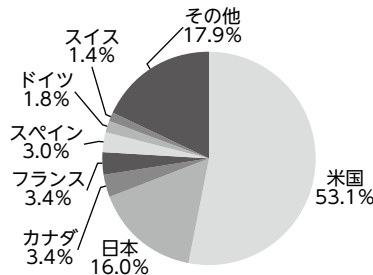
	銘柄	種別	比率
7	Nomura Securities Repo	現先取引	2.0%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%
10	Citigroup Global Markets Inc Repo	現先取引	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

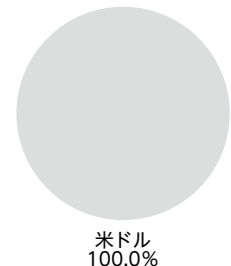
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。